

登録コード	ASN03675	開講年度	2026				
授業科目	特別研究				担当教員	福山 泰治郎	
英文授業名	Graduate Research				副担当		
単位数	10	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考	修士2年	
信大コンピテンシー	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ						
	【専攻】生命科学, 食品科学, 食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。				土砂移動現象やその結果発生する土砂災害のメカニズムについて考察し、研究対象とするテーマにおいて、データの多角的な検討、現象に対して深く理解し、他者に説明できるようになるとともに、研究成果を社会実装するための活動を行う。		
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。				論文読解やレビュー, 学会発表, ゼミやディスカッション, 論文執筆を通して, 情報収集・分析・情報発信・批判的思考力を身につける。		
授業の概要	専攻研究や専門教育で習得した知識や問題意識を基に, 研究テーマを設定します。その上で, フィールドワークと実験, 文献のレビュー, 担当教員や研究者とのディスカッション, ゼミや学会での発表と質疑応答を通じて, 修士論文として取りまとめる。						
Contents:	This lecture will offer especially following themes: 1) Mechanisms of the sediment production induced by rainfall, avalanche, earthquake and the freeze and thaw cycle 2) Avalanche disturbance on sub-alpine coniferous forest						
授業計画	修士1年 4月: 研究テーマの設定, 調査計画作成, 現地調査準備 5~10月: 現地調査, 文献収集・読解 11~3月: データの整理と解析, 文献収集・読解, 発表準備 修士2年 4月: 中間審査のためのプレゼンテーションの準備 5月~6月: 中間審査・学会発表 5~11月: 現地調査, 文献収集・読解 11~1月: 論文作成, プレゼンテーションの準備 2月: 修士論文審査, 論文提出 担当教員が携わる研究テーマ 1) 降雨・融雪・地震・凍結融解に起因した土砂生産現象の解明とその予知予測 2) 流木の発生源や規模の評価と予測 3) 森林の有する崩壊防止機能の定量的評価 4) 雪崩による森林かく乱と流木発生の危険度予測 5) 土地利用の変化が土砂生産や土砂流出に及ぼす影響の評価 6) シカの高密度化が下層植生や土壌侵食に及ぼす影響の評価 7) 間伐材を利用した治山施設(棚)の整備による地域防災力の向上 担当教員とのディスカッションを通してテーマを設定し, 積極的かつ主体的に研究に取り組むことを心がけて下さい。						
成績評価の方法	調査や観測, 作成する論文内容, データのとりまとめと解釈, 教員とのディスカッション, 考察, 資料作成, プレゼンテーション等を総合的に評価します。また, 積極的かつ真摯に取り組む姿勢を評価します。						
成績評価の基準	秀: 90点以上(卓越している) 優: 80~89点(かなり上にある) 良: 70~79点(やや上にある) 可: 60~69点(水準にある) 不可(D): 50~59点(やや下にある) 不可(E): 49点以下(水準にない)						
事前事後学習の内容	関連する論文や資料を読み, 自分の研究の位置づけを考えたり, 研究の意義やアウトプットを考えることが必要です。						
履修上の注意	担当教員とのディスカッションを十分に行ってください。						
質問,相談への対応	随時研究室で受け付けます。						
学生へのメッセージ	専攻研究で得られた成果や知見, 技能を発展させて, さらに明確な問題意識を持って積極的に取り組んで下さい。						
【教科書】	特定の教科書は使用しません。						

【参考書】	特定の参考書は使用しませんが、内容に応じて文献や配布資料を利用します。
-------	-------------------------------------